

平成27年度事業報告について

項目	内容
1 新規入会	<p>規約第4条第2項に規定に基づき、次の2団体の入会を承認しました。平成27年6月1日時点で、会員数は56団体となりました。</p> <p>○株式会社長野放送 代表取締役社長 外山 衆司</p> <p>○長野朝日放送株式会社 代表取締役社長 土屋 英樹</p>
2 世界遺産登録への取り組み	<p>(1) (仮称) 国宝四城世界遺産登録推進会議準備会</p> <p>国宝四城等で近世城郭群の研究を進め、既に世界遺産に登録されている「姫路城」の拡張遺産として世界遺産登録を目指して、松本市は、関係市と(仮称) 国宝四城世界遺産登録推進会議準備会(以下「準備会」といいます。)を設置して取り組みを進めました。</p> <p>ア 準備会を3回、専門家によるワーキンググループを2回開催しました。</p> <p>イ 準備会の26年度の経過について9月に文化庁へ報告し、今後の取組みについて協議しました。</p> <p>ウ 彦根市長から「彦根城の単独登録に傾注するため、準備会への参加を見合わせる」旨の文書を受理(27.6.19付け)し、松本市と犬山市の2市で準備会を継続して開催しました。</p> <p>エ 松江城の国宝指定(27.7.8官報告示)を受け、準備会への参加に向けて松江市と意見交換を行いました。</p> <p>(これまでの経過)</p> <p>18.11 松本市は長野県と共同で、国連教育科学文化機関(ユネスコ)に提出する世界遺産登録の国内候補を載せた「暫定一覧表(リスト)」に国宝松本城を推薦する提案書を文化庁に提出しました。(審議結果:継続審議案件)</p> <p>19.12 松本市と長野県が、再提案書及び「姫路城を中心とした日本の近世城郭群」で研究を進めることを含む検討状況報告書を提出、20.3に世界文化遺産特別委員会ワーキンググループのヒアリングを受けました。</p> <p>20.1~2 松本市長と彦根市長、犬山市長との間で、今後、「近世城郭群」で研究を進めることの合意が得られ、3月に事務レベル会議を開催しました。</p> <p>20.9 再提案書及び検討状況報告書(19.12提出)</p>

項目	内容																																
	<p>に対し、文化庁文化審議会文化財分科会世界遺産特別委員会から「カテゴリー I b に該当」との審議結果を受けました。</p> <p>23. 3 彦根市、犬山市と3市で準備会を設置しました。</p> <p>(2) 松江市への現状報告と意見交換 推進実行委員会と松本市が9月に松江市を訪問し、世界遺産登録に向けての取組みに関する現状を報告するとともに、松江市の意向確認のための意見交換を行いました。</p>																																
<p>3 松本城関係文化財の保護活動</p>	<p>(1) 『史跡松本城保存管理計画』の策定に向けた取組み (2) 史跡松本城及び国宝松本城天守に係る保存整備の推進 (3) 松本市特別史跡戸田家廟園保存整備事業の実施 (4) 『松本市歴史文化基本構想』策定のための文化財調査の実施 (5) 城郭遺構の発掘調査の実施 (6) 「まるごと博物館」構想の推進</p>																																
<p>4 啓発・PR活動</p>	<p>(1) バナーの掲出 推進実行委員会の活動を市民や観光客に広くアピールするため、世界遺産委員会の開催時期に合わせて、6月に大名町通りにバナーを掲出しました。</p> <p>(2) ホームページのリニューアル・活用 27. 6にホームページをリニューアルし、特にアーカイブの充実を図りました。</p> <p>(3) 松本城検定クイズ 松本城に興味を持つきっかけづくりのため、市内小学校で国宝松本城についてのクイズ形式による出前講座を行いました。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">6. 22</td> <td style="width: 40%;">田川小学校</td> <td style="width: 15%;">4年生</td> <td style="width: 35%;">49名</td> </tr> <tr> <td>7. 9</td> <td>松本ろう学校</td> <td>5年生</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>8. 21</td> <td>芳川小学校</td> <td>3年生</td> <td>115名</td> </tr> <tr> <td>9. 9</td> <td>菅野小学校</td> <td>3年生</td> <td>111名</td> </tr> <tr> <td>9. 30</td> <td>山辺小学校</td> <td>3年生</td> <td>89名</td> </tr> <tr> <td>10. 2</td> <td>鎌田小学校</td> <td>3年生</td> <td>153名</td> </tr> <tr> <td>10. 7</td> <td>今井小学校</td> <td>3年生</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">合計7校</td> <td>544名参加</td> </tr> </table>	6. 22	田川小学校	4年生	49名	7. 9	松本ろう学校	5年生	2名	8. 21	芳川小学校	3年生	115名	9. 9	菅野小学校	3年生	111名	9. 30	山辺小学校	3年生	89名	10. 2	鎌田小学校	3年生	153名	10. 7	今井小学校	3年生	25名	合計7校			544名参加
6. 22	田川小学校	4年生	49名																														
7. 9	松本ろう学校	5年生	2名																														
8. 21	芳川小学校	3年生	115名																														
9. 9	菅野小学校	3年生	111名																														
9. 30	山辺小学校	3年生	89名																														
10. 2	鎌田小学校	3年生	153名																														
10. 7	今井小学校	3年生	25名																														
合計7校			544名参加																														

項目	内容
	<p>(4) 松本城・旧開智学校写生大会及び絵画展（市教育委員会など主催）への協賛並びに同絵画展優秀作品展示会（推進実行委員会主催）の開催</p> <p>27. 9. 27 写生大会</p> <p>28. 1. 21～24 絵画展（505点。井上百貨店）</p> <p>3. 4～4. 8 展示会</p> <p>特選・金賞・銀賞・銅賞に選ばれた57点を展示（八十二銀行松本営業部ギャラリー）</p> <p>(5) 国宝松本城七不思議親子探検ツアー</p> <p>松本城に興味や関心を持つとともに、より身近に感じてもらうことを目的として、見学しながら天守内各所に係る不思議や伝説的な内容を中心にした問題を親子で一緒に解答する「国宝松本城七不思議親子探検ツアー」を実施しました。</p> <p>第1回 9. 26 12組 32名</p> <p>第2回 10. 24 14組 34名</p> <p>合計26組 66名</p> <p>(6) 松本城ウォーク（松本市、信濃毎日新聞社など主催）への協力</p> <p>11月7日、8日に開催された松本城ウォークに協力し、コース上にクイズポイントを数カ所設置して松本城クイズを行いました。</p> <p>(7) 世界遺産「韮山反射炉」見学会</p> <p>見学会は、国内の世界遺産を視察し、松本城の世界遺産登録への活動に役立てることを目的に、毎年秋に実施しています。</p> <p>27年度は、7月に「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつとして世界文化遺産に登録された韮山反射炉（静岡県伊豆の国市）と、25年に富士山と一体で世界文化遺産に登録された景勝地「三保の松原」（静岡市）を見学しました。11月26日に実施し、会員ら27人が参加しました。</p> <p>(8) 「国宝松本城を世界遺産に」フォーラム</p> <p>松本城の世界文化遺産登録について考えるフォーラムを2月7日にホテルブエナビスタで開催し、俳優で国連開発計画（UNDP）親善大使を務める紺野 美沙子氏、TBS「世界遺産」プロデューサー 堤 慶太氏、松本古城会会長 田中 荘太氏によるパネル討論「文化遺産と地域とのかかわり」を、市民ら約300人が熱心に聴講しました。</p> <p>紺野氏は、親善大使としてカンボジアやパキスタンなどを訪ねた活動を紹介。地域紛争などで危機にさらされている遺産がある</p>

項目	内容
	<p>として、「世界遺産に認定されても、地域に平和がなければ守っていけない」と訴えました。田中氏は、明治期に売却された天守を市民が買い戻すなどした歴史に触れ、「松本城は、市民にとって最大の宝」だと話しました。堤氏からは、松本城が「近世城郭の天守群」として国内各地と連携して世界遺産登録を目指している取組みを評価いただきました。</p> <p>(9) 啓発チラシ（英語版）の作成 松本城の世界遺産登録運動に取り組んでいることを外国人観光客などに周知啓発するため、NPO法人アルプス善意通訳協会の協力で、3月に英語版チラシを5,000部作成し、松本城管理事務所などで配布しました。</p>
<p>5 世界遺産に関わる調査、研究活動</p>	<p>(1) 松本城の世界遺産登録に向けた調査、研究 松本市は、松本城の特徴である「軍事施設・大規模木造・行政施設・統治のシンボル（市民の宝）」の観点から、世界遺産登録に必要な海外の同種資産（城郭など）との比較研究を行いました。</p> <p>(2) 国際記念物遺跡会議（イコモス）、ユネスコ等の動向 ア 6.28～7.8 ドイツ・ボンにおいて第39回世界遺産委員会が開催されました。新たに24件（文化遺産23、複合遺産1）が世界遺産リストに登録され、世界遺産の数は1,031件（文化遺産802、自然遺産197、複合遺産32）になりました。 日本からは、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が記載されました。 イ イコモスの調査団が、8.19～20に建築家ル・コルビュジエの作品群のひとつである「国立西洋美術館本館（東京）」を、10.4～13に「長崎の教会群とキリスト教関連資産」を現地調査しました。（28.5にイコモスから評価に関する発表があり、7月上旬の世界遺産委員会で登録の可否が審議される予定） ウ 28.1末、日本政府は「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」をユネスコ世界文化遺産に推薦することを決定しました。 エ 世界遺産委員会は、近年、世界遺産の新規記載数を抑制して専門的な評価を厳格に行う傾向にあり、新規記載が厳しくなっています。各国からの毎年の推薦は、1国2件（文化遺産、自然遺産各1）、全体の審査件数は50件までとされています。</p>

項目	内容
	<p>(3) 国内他地域の動向</p> <p>ア 武家の古都・鎌倉 (平成4年暫定リスト記載) 24年に推薦書を提出しましたが、イコモスの「不記載」の勧告を受け、世界遺産委員会に際して審議取り下げを行いました。再推薦に向けて新たな価値づけを検討するため、国内外の比較研究に取り組んでいます。</p> <p>イ 彦根城 (平成4年暫定リスト記載) 彦根市は、27.4に滋賀県と県市連絡調整会議及び作業グループを設置しました。また、国内外の専門家への意見聴取を積極的に行いました。さらに、推薦に向けた課題である姫路城との差別化を図るとともに、国内の類似施設との比較研究も実施しました。</p> <p>ウ 長崎の教会群とキリスト教関連資産 (平成19年暫定リスト記載) 27.1に日本政府がユネスコに推薦書を提出し、10月にイコモスによる現地調査が行われましたが、28.2にイコモスから資産構成について指摘を受け、結局推薦を取り下げました。</p> <p>エ 飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群 (平成19年暫定リスト記載) 顕著な普遍的価値(OUV)及び世界遺産基準適用の説明文は作成されていますが、価値の主張に更なる作業が必要とされています。</p> <p>オ 北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群 (平成21年暫定リスト記載) 北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群における「縄文文化」の定義づけと、構成資産を北海道・北東北に限定する理由の解りやすい説明ぶりなどが求められています。</p> <p>カ 金を中心とする佐渡鉱山の遺産群 (平成22年暫定リスト記載) 構成資産選択の理由(鉱山都市としての説明をすべきか否かを含む)や国内外の鉱山との比較研究を通じた佐渡の独自性(世界遺産たる価値)の明確化が特に求められています。</p> <p>キ 百舌鳥・古市古墳群 (平成22年暫定リスト記載) OUVの説明ぶり、構成資産を百舌鳥・古市古墳群に限定する理由、さらにその中での構成資産選択の正当性などが指摘されています。</p> <p>ク 平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群(拡張) (平成24年暫定リスト記載) 「平泉」は、23年に2回目の推薦で世界遺産一覧表に記載されています。その際に、最初の推薦時には含まれていたにもかかわらず、再推薦時に含めることができなかった資産について</p>

項目	内容
	<p>て拡張登録を目指すものです。当面、29年登録を目標に、5年をかけて調査研究やシンポジウム等を行うこととしています。</p> <p>(以上、参考：世界文化遺産特別委員会（第1回）会議資料 資料5-1 『世界遺産暫定一覧表記載資産の準備状況と課題等について』)</p> <p>(4) 県内他地域の動向</p> <p>ア 善光寺と門前町（長野市） 世界遺産登録の前に、「日本遺産」登録に向けて活動を始めています。</p> <p>イ 妻籠宿・馬籠宿と中山道（木曾町） 「日本遺産」登録に向けて活動を始めています。</p> <p>ウ 岡谷の製糸遺産（岡谷市）</p> <p>エ 南アルプス（伊那市） 南アルプスの世界自然遺産登録を目指す「南アルプス世界自然遺産登録推進協議会」を発足させ、25年にユネスコエコパークに認定されました。</p> <p>オ 信州黒耀石原産地遺跡群（長和町） 数万年前という歴史を背負うオブジディアンスピリット（黒耀石文化の精神）を世界へ発信するため、世界遺産登録に向けて20年度から活動を始めました。</p> <p>カ 縄文を世界遺産に（茅野市） 国宝指定された土偶を中心に縄文遺跡群の世界文化遺産登録に向けて活動中です。青森県等の縄文遺跡群（前記(3)エ）との差別化が課題です。</p> <p>(5) 維持会員として、日本イコモス国内委員会及びイコモス（国際記念物遺跡会議、）並びに日本ユネスコ協会連盟が行う世界遺産保護、文化財保護活動に協力しました。</p>